

第53回 関西財界セミナーにおけるビジョンの策定

「世界最先端の健康・医療イノベーション拠点への成長と企業の発展」

世界に先駆けて超高齢社会に突入した日本において、**関西の強みを活かした健康・医療産業振興や新たな関連産業の創出、企業の発展の視点**から健康・医療分野において関西が果たすべき役割等について討議

- 議長：手代木功 塩野義製薬(株) 取締役社長、河野雅明 (株)みずほ銀行 取締役副頭取
- 問題提起者：井村裕夫 第29回日本医学会総会2015関西 会頭、京大 名誉教授(第1・2合同)  
土屋裕弘 田辺三菱製薬(株) 取締役会長  
森下竜一 阪大大学院 医学系研究科教授、健康・医療戦略 参与、規制改革会議 委員  
澤芳 樹 阪大大学院 医学系研究科教授、inochi未来プロジェクト 実行委員長(第1・2合同)
- 参加者：65名 { 製薬企業・関連団体(9), 医療機器メーカー(9), 医療・検査機関(2), その他企業(25), 社団・財団法人等(11), 行政・自治体(9) }

「健康・医療を支える魅力あるまちづくり・意識づくり」

世界に先駆けて超高齢社会に突入した日本において、**まちづくりの視点**から健康・医療分野において関西が果たすべき役割等について討議

- 議長：角和夫 阪急電鉄(株) 取締役会長、家次恒 シスメックス(株) 取締役会長兼社長
- 問題提起者：西名弘明 オリックス(株) グループ関西代表 執行役副会長  
谷口守 筑波大学 システム情報系社会工学域教授 (合同実施分除く)
- 参加者：45名 { デベロッパー・ゼネコン・設計事務所等(7), 健康・医療関連企業・団体・機関(8), その他企業(19), 社団・財団法人等(6), 行政・自治体(5) }

各分科会 + 合同分科会での討議

健康・医療専門委員会の活動

＜基本方針と2015年度の主な活動(抜粋)＞

1. 基本方針

関西における“健康・医療産業発展および健康社会の実現”に向け、**ビジョンのアクションについて議論の深掘りと実行**を行う。

- ・製薬企業・医療機器企業をはじめ関連する会員企業・団体から構成し、広範な意見収集および議論のうえ、**健康・医療産業全体を俯瞰した活動**を目指す。
- ・まちづくりのアプローチが必要な事項については、都市再生・特区専門委員会と合同での取り組み(**健康・医療/都市再生・特区合同専門委員会**)を進める。
- ・**産官学の連携が必要な事項については、「関西健康・医療産業創生会議(仮称)」に経済界としての意見を出し検討**することで、取り組みの効果的な推進を図る。

2. 体制

(1) 専門委員長および委員

- ① 専門委員長：産業振興委員会 健康・医療担当委員長である田辺三菱製薬 会長 土屋裕弘氏
- ② 委員は、以下の会員を対象とする。
  - ・健康・医療専門委員会：基本方針に基づく事業遂行にあたり関連する**企業**もしくは**企業が組織する業界団体**
  - ・健康・医療/都市再生・特区合同専門委員会：健康・医療専門委員会および都市再生・特区専門委員会の委員に加え、**医療機関や教育機関、その他経済団体等**

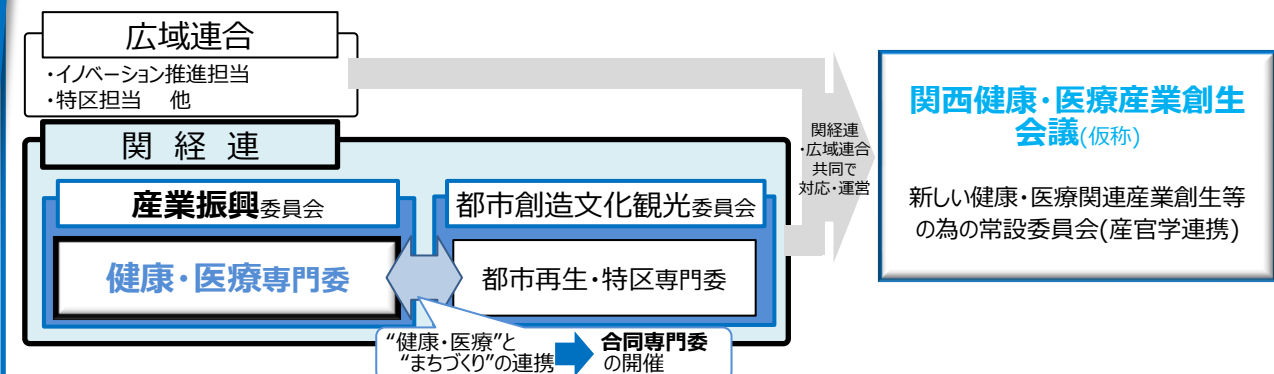
(2) ワーキンググループ

- ① 本会の取組みをより迅速・効果的に推進すべく、必要に応じワーキンググループを構成する。

3. 2015年度の主な活動

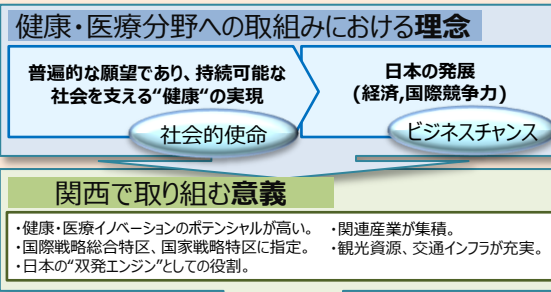
- ① 活動計画(2015年度、3カ年計画)の策定  
ビジョンで掲げたアクションへの優先順位付けや追加等、経済界としての取組みの再整理と、ファーストステップとして実行すべき事項の計画策定および深掘りを行う事項の工程策定。
- ② 活動計画(2015年度)の実行
- ③ 他委員会等との連携による提言・要望等。
- ④ ①～③に必要な調査の実施と結果の共有
  - ・関西における経済効果 [関連産業の市場規模・将来性, 医療費削減効果 等]
  - ・近年の政策動向 [医療政策の流れ, 補助事業, 自治体の動き 等]
  - ・(必要に応じ)海外調査

＜関西健康・医療産業創生会議(仮称)との連携および今後のスケジュール案＞



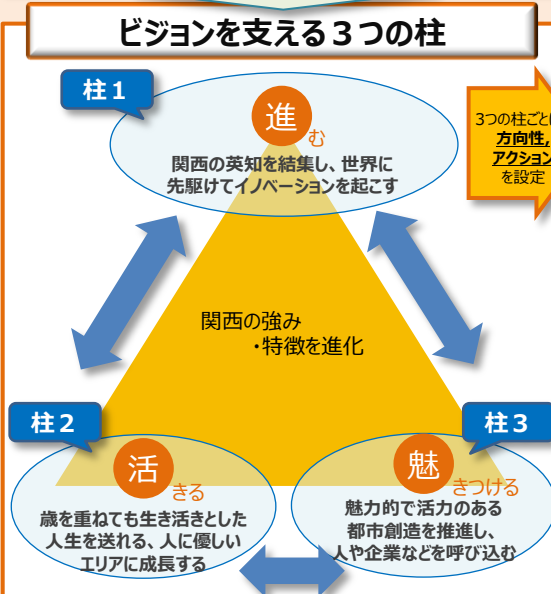
**関西健康・医療産業創生会議(仮称)**  
新しい健康・医療関連産業創生等の為の常設委員会(産官学連携)

生き活き関西～“健康・医療”先進地域ビジョン～(骨子)



経済界として目指すべき方向性と主なアクション(例)

柱1	方向性	イノベーション早期創出に向け、環境整備・オール関西での連携強化 → 成果の国内外への発信。
	主なアクション	・関連機関の関西拠点の設置・機能拡充のための、要望・提言(例:AMED, PMDA) ・効果的なアウトバンドに向けた、関西が一体となったPRや先行するプロジェクト等との連携 等
柱2	方向性	異業種横断的連携による新ビジネス・サービスの創出、企業の労働力維持・向上、消費行動促進、企業・まちの発展、といった好循環の形成。
	主なアクション	・実務者をターゲットとした情報交換会や、オープンイノベーションに関する取組み ・東京オリンピック・パラリンピックや関西ワールドマスターズゲームズ2021の開催をきっかけとした、健康増進の環境醸成のためのプロモーションの実施や住民への参加促進 等
柱3	方向性	“知”を集積し繋ぎ合わせる“場”づくりや国際的イノベーション拠点形成、健康まちづくりによる持続可能社会の構築 → 国内外からの人・企業を呼び込み。
	主なアクション	・“知”を集積し繋ぎ合わせる“場”の拡大 ・中核エリアへの高度医療機関や連携大学院をはじめとした教育機関等の設置推進 等
共通	方向性	本ビジョンを関西経済界のスタート台とし、具体的なアクションに関する議論の深掘りと実行。 関西経済内に必要な体制を整備の上、オール関西での産官学の具体的な連携(関西健康・医療産業創生会議(仮称)の設立)及び必要な規制改革の推進等について検討を行う。



- アクションを実行
- 関西における“健康・医療産業発展及び健康社会”の実現
- 10年程度先に目指す姿
- ① 革新的医薬品・医療機器・再生医療分野で**日本・世界をリード**
  - ② 関連産業において、“**関西発**”の**新たな商品・サービスが展開**
  - ③ **新たな高度医療拠点形成・各クラスター間連携により、世界トップクラスの健康・医療基盤となる**
  - ④ 従業員やその家族等の**健康維持・増進による企業の発展**
  - ⑤ 都市・地方で、住みやすい**魅力あるまちとして成長し続ける**

	2014年度		2015年度								
	2	3	4	5	6	7	8	9	下期		
① 関経連 (専門委員会)	△ 5~6日 財セミ		△ 23日 準備会合	△ 25日 関経連 理事・総会	△ 10日 第1回 (専門委/合同委)				第2回	第3回	第4回
② 産官学連携 (創生会議(仮称))		△ 20日 関係者意見交換 (医と健康フォーラム)	△ 11~13日 医総会 学術講演	井村先生との調整		△ 23日 創生会議 キックオフ			産官学で議論		